

令和4年度 第6回
栃木東部地域会議 会議録

令和4年9月22日(木)
栃木市国府公民館 大交流室

栃木東部地域まちづくりセンター

会 議 録

会議の名称	令和4年度第6回栃木東部地域会議
開催日時	令和4年9月22日(木) 19時 開会 20時00分 閉会
開催場所	国府公民館 大交流室
出席者氏名	別紙1のとおり
欠席者氏名	別紙1のとおり
事務局職員職氏名	別紙1のとおり
その他出席者等	別紙1のとおり
会議事項	別紙2のとおり
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	1人
その他必要事項	
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<p>1 開会</p> <p style="text-align: center;">——開会——</p> <p>2 会長あいさつ</p>
	<p>3 議事</p> <p>栃木市地域づくり推進条例第9条の規定により、柏崎会長による議事進行。 <本日の出席委員数の報告> 本日の出席委員12名(委員総数16名) 過半数以上の委員の出席であるため本日の会議は成立</p> <p>(1) 地域予算提案事業について</p> <p><説明></p> <p>・資料1に基づき説明。10月7日に予定する地域予算提案事業計画書の提出式を前に事業計画書の最終確認を行う。これまでの説明では、2公民館トイレ改修事業を1本にまとめて実施するとして進めていたが、工事を担当する建築住宅課から連絡があり、別々の工事として2本に分けて実施するよう指示があったため、事業名を「大宮公民館トイレ改修事業」「国府公民館トイレ改修事業」と分けて事業費を算出するなど修正を行った。</p> <p>A委員 事務局</p> <p>・事業計画書について、今後パブリックコメントは実施するのか。 ・実施しません。</p> <p>B委員 事務局</p> <p>・なぜ事業を2本に分けて実施するのか、理由を教えてください。 ・一番の理由は場所が違う事が大きい。場所が違うという事は本来別々の工事</p>

<p>B委員 事務局</p>	<p>として入札や契約等事務をしなくてはならないと理解していたので、この公民館のトイレ改修工事がある程度形になってきた段階で、建築住宅課に事務簡素化や事業費削減の為1本に出来ないか相談し、特に問題ない、可能であるとして回答を得ていたため1本で進めていたが、建築住宅課内部で再考した結果、分けて事業実施すべきとの指示があった。私としては、本来の形に戻ったものと理解しているため納得はしている。昨今の世界情勢なども加味され、事業費は前回提示したものより上昇している。事業費を分ける事で、請負業者としては、市に提出する書類も多くなるのでその手間代も経費とみる必要がある。そういった面からも1本で発注した方が安くできる見込みがあるのだが不可となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 入札にかかる必要があると思われるが、この金額で議会の承認を得られるのか。 今後について説明すると、来年3月の市議会定例会で令和5年度予算の審査を行い、議会の承認を貰う。そして担当課である地域政策課が令和5年度内に予算を執行する流れとなる。公民館の工事は来年冬季を予定している。事業計画書にある事業費以内で落札されるよう、物価上昇分を見越して設計をしている。入札差金は他の事業に使える訳ではない。
<p>事務局</p>	<p>(2) 地域未来ビジョンの策定について <説明></p> <ul style="list-style-type: none"> 資料2に基づき説明。栃木東部地域未来ビジョンを策定するため、各委員に提案シートの提出を依頼した。
<p>C委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「I. 地域の概要」交通に道路名が記載してあるが、どの道路を指しているかわからない。また、「国指定文化財の下野国庁跡」とあるが、同様に吾妻古墳もある。敷地の半分は壬生町だが記載してはどうか。「II. 地域の課題」④のグリーンツーリズムとは何か。意味がわからない。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> 道路名称、文化財については再度検討します。グリーンツーリズムとは、農業体験というような意味である。都会に住む方々に農村部に呼び込み、田植え体験などをしてもらおう事で、観光や地域振興に繋げる取組みだ。
<p>D委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 栃木市だと農業公社が担当しているが、都会から就農したいとして来ても、農業だけでは一年中収入が安定しなく、生活が成り立たないという現実がある。そのため、移住してきた方に就農しながら、介護事業所でも働き、資金を確保できるようにしてほしいとの事で動き出していると聞いている。
<p>C委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 言葉としては理解した。国府地区・大宮地区としては、受け入れる農家が無いと絵に描いた餅になってしまう。
<p>A委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「I. 地域の概要」に、「思川を境に下野市や小山市、壬生町と接している」とあるが、思川の東側にも大光寺の一部があるので修正してほしい。また、県内の古墳で一番敷地面積が広いのが吾妻古墳であるので是非記載してほしい。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> 観光資源の記載の中で、国府地区はある程度把握しているが、大宮地区については疎く、大宮神社しか記載できなかったため他に候補がないか教えては

B 委員	<p>しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あまり無いのが実情だ。大宮神社は大宮城の跡地であり、大昔に疫病が流行った際に獅子舞などで治めた歴史がある。少し前までは11月頃にお祭りを実施していた。
C 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「Ⅲ. 未来の姿」②「～新たなまちづくりを模索する。」とあるが国府地区では市街化調整区域が多く、まちづくりを模索できない状態にある。様々なところで、色々な提案をしても用途地域が邪魔をして出来ない状態だ。地域未来ビジョンに描くと、希望があるように思えるが、期待できない。国府地区の人口減少の対策もまちづくりとして取り組めるのか。国府地区は色々な面で置き去りにされている。
B 委員 会長	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な提案を市にしても、予算が無いなどの理由で実施して貰えない。 ・地域未来ビジョンに対し、ご意見を頂きますようよろしくお願いします。 <p><u>4 その他</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第7回栃木東部地域会議について 令和4年10月27日（木）大宮公民館にて開催予定 <p><u>5 閉会</u></p> <p style="text-align: center;">——閉会——</p> <p style="text-align: center;">(会議終了時刻 午後8時00分)</p>

別紙1 出席者及び事務局

〈出席者（委員）〉

会 長	柏崎 桂二	副会長	出井 康夫
委 員	赤間 シズ子	委 員	大木 泰正
委 員	大橋 哲夫	委 員	古山 美代子
委 員	島田 研	委 員	内藤 實
委 員	中村 康子	委 員	藤本 和夫
委 員	増山 由美	委 員	松崎 文子

〈欠席者（委員）〉

委 員	大武 真一	委 員	長 昌光
委 員	穂坂 孝司	委 員	森川 剛

〈事務局〉

中嶋 美佐	(栃木東部地域まちづくりセンター所長兼国府公民館長)
宇津野 薫朗	(大宮公民館館長)
田中 賢太	(国府公民館主査)

別紙2 会議事項及び配付資料一覧

<会議事項>

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議 事
 - (1) 地域予算提案事業について
 - (2) 地域未来ビジョンの策定について

4 その他

- ・ 次回の開催予定について

5 閉 会

<配付資料一覧>

- ・ 令和5年度実施分 栃木市地域予算提案事業計画書
- ・ 地域未来ビジョンの策定について
- ・ 栃木東部地域未来ビジョン(案)
- ・ 地域未来ビジョン 提案シート

資料1

資料2

資料2-1

資料2-2